

ゴンドラ

No.13

大和川を学ぶ

当館にとって、市域の中央を流れる大和川は、調査・研究・展示の大きなテーマです。江戸時代に柏原から西、堺の海へと付け替えられたことは有名ですが、それだけでなく、いつの時代にも大和川は河内と大和を結ぶ川として重要な位置を占めていました。

大和川付け替え工事については、毎年秋季企画展として開催し、多数の来館者があります。大阪府内の小学4年生が大和川の付け替えについて学習することに合わせた展示で、ここ数年は毎年100校以上、9,000人以上の小学生が企画展の見学に訪れています。来館の小学生には、展示品を中心とした付け替えについてのお話しとDVDの視聴を行ってから展示を見学してもらっています。当館から付け替え地点まで徒歩約30分。大和川の河原や史跡高井田横穴公園でお弁当を食べるコースは、遠足や社会見学のコースとして人気です。

展示の内容は、付け替え運動の中心人物であった中甚兵衛に関わる中家文書を中心にしてはいますが、毎年サブテーマを決めて、内容を深めることにしています。平成28年度は、新大和川堤防の発掘調査成果から、付け替え工事の際に堤防がどのように築かれたのか、そして付け替え工事のようすについて考えています。

また、大和川市民ネットワークなど、大和川の環境や歴史を考え、それを学習や市民活動に活かして、もっと大和川について考えていこうという取り組みも広まっています。大阪府立富田林高校の生徒たちは、石川にアユを遡らせようとがんばっています。

当館も、館長とともに大和川の歴史について学ぼうという講座を始めました。「館長と学ぶ大和川講座」として、ほぼ毎月みなさんと学習を重ねていきます。そしてこれを、大和川への新たな取り組みにつなげていきたいと考えています。

柏原市立歴史資料館
平成28年度 秋季企画展
9/13(火) ▶ 12/11(日)

堤を築く

つづみ
— 大和川のつけかえ工事 —

館長と学ぶ 大和川講座
9/24(金)
「大和川のつけかえ運動」
10/29(金)
「大和川のつけかえ工事」
11/26(金)
「つけかえ後の大和川」
講師/館長 安村 俊史
13:30 ~ 15:00
歴史資料館3階研修室にて
定員 40名 / 参加無料
申込不要 (当日の13時より受付)

史跡 高井田横穴特別公開
10/15(金)
10:00 ~ 15:00
申込不要、参加無料
職員によるツアーガイド
10時 / 11時 / 13時 / 14時

月曜休館 (祝日は開館)
入館無料
9:30 ~ 16:30
大阪府柏原市高井田 1598-1
電話 072-976-3430

JR 大和路線
高井田駅から徒歩約5分
近鉄大阪線
河内百分駅から徒歩約15分

秋季企画展「堤を築く」

企画展のご案内

◎平成 28 年度秋季企画展「堤を築く－大和川のつけかえ工事－」

平成 28 年 9 月 13 日～12 月 11 日

大和川堤防の発掘調査成果をもとに、江戸時代の付け替え工事の実態に迫ります。中甚兵衛にかかわる中家文書も多数展示しています。

◎平成 28 年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たち」

平成 29 年 1 月 7 日～3 月 5 日

毎年開催しているちょっと昔の道具についての展示です。小学 3 年生の学習内容に合わせた展示にしています。

◎平成 28 年度春季企画展「竹原井頓宮と青谷遺跡」

平成 29 年 3 月 25 日～6 月 11 日

奈良時代に設置された離宮、竹原井頓宮について、その推定地である青谷遺跡の調査成果と『続日本紀』から、竹原井頓宮の実態について考えます。

※タイトル・期間等は変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。

お知らせ

◎出張展示

平成 28 年 9 月 13 日（火）～10 月 10 日（月） 大阪府立中央図書館 1 階展示コーナー

「謎の松岳山古墳」と題して、墳丘推定復元模型や解説パネルなどによる出張展示を行います。10 月 1 日には、講演会も実施します。府立中央図書館、市民歴史クラブとの共催展示です。

◎市民歴史大学「古代人のこころ」

平成 29 年 1 月と 2 月に開催予定。

◎史跡高井田横穴特別公開

平成 28 年 10 月 15 日（土） 10:00～15:00 史跡高井田横穴公園

普段は鍵がかかっている横穴を、鍵を開けて公開します。学芸員による説明もあります。

◎体験教室

12 月上旬に「しめなわづくり」、2 月上旬に「わらぞうりづくり」を行います。

◎館長と学ぶ大和川講座

9 月 24 日、10 月 29 日、11 月 26 日に付け替え前後の大和川について講義します。

これ以降も、毎月第 4 または第 5 土曜に、大和川の歴史についての講座を実施していきます。

◎刊行物

- ・『江戸時代の国分村』32 ページ、300 円。
- ・『まじなう』24 ページ、300 円
- ・『南西尾家文書目録Ⅲ』92 ページ、400 円。
- ・『柏原市立歴史資料館館報』28 号 80 ページ、400 円

企画展を終えて

★平成 27 年度秋季企画展「知恵と技術—大和川のつけかえ運動—」

平成 27 年 9 月 15 日～12 月 6 日

観覧者数 11,501 人（個人 1,848 人、団体 9,653 人）

★平成 27 年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たち—食のふうけい—」

平成 28 年 1 月 5 日～3 月 6 日

観覧者数 2,285 人

（個人 1,159 人、団体 1,126 人）

★平成 27 年度春季企画展

「江戸時代の国分村」

平成 28 年 3 月 26 日～6 月 12 日

観覧者数 2,249 人

（個人 1,804 人、団体 445 人）

★平成 28 年度夏季企画展

「まじなう」

平成 28 年 7 月 2 日～8 月 28 日



春季企画展「江戸時代の国分村」展示風景

古文書調査報告

当館では、市民から多数の近世・近代の古文書の寄贈・寄託を受け、それら史料の調査・整理を進めています。ほぼ 1 年に 1 冊のペースで、これまでに 11 冊の文書目録（古文書調査報告書）を刊行しています。平成 27 年度には、安宿部郡国分村の南西尾家文書約 8,000 点の調査・整理が完了し、三分冊の目録を刊行することができました。平成 27 年度春季企画展「江戸時代の国分村」は、その調査成果を中心にした展示でした。このように文書目録だけではなく、展示などを通じて、その成果を公開していきたいと考えています。

平成 28 年度には、同じ国分村の堅山家文書目録の刊行を予定しています。そして、今後も引き続いて古文書の調査報告書を刊行していきます。

地域の近世・近代の歴史や社会、人々の生活を明らかにするために、古文書は欠くことのできない史料ですが、散逸してしまった文書も多く、今のうちに少しでも集め、調査・研究を進めていかなければなりません。古文書の所在や所蔵の情報について、市民の方々のご協力をお願いしたいと思います。

柏原市古文書調査報告書第十一集

河内国安宿部郡国分村

南西尾家文書目録Ⅲ

柏原市立歴史資料館

三田家所蔵・水野家文書

柏原市今町の三田家は、柏原船の営業に参加するため、寛永 17 年（1640）に大坂から柏原へ移り住んだ三田浄久にはじまる家です。奈良街道に面して建つ建物は、重要文化財に指定されています。筋向いの国登録文化財の寺田家とともに、江戸時代の風景を残しています。

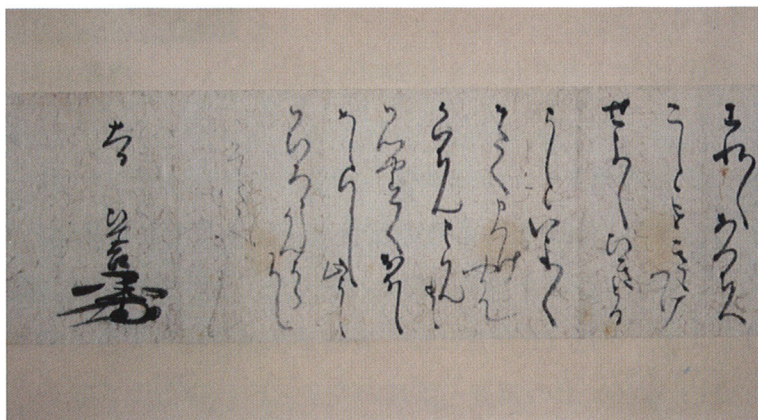
その三田浄久の父、水野庄左衛門は福島正則の家臣でしたが、大坂夏の陣の際に豊臣方に味方して大坂城に入り、戦死しました。その子浄久は母方の三田姓を名乗り、堺で育ちました。その後、大坂で商売を始め大文字屋七左衛門として柏原に移り住むことになりました。

三田家には、三田家の祖にあたる水野家の文書が 19 点残されています。三田家の出自や由来を明らかにする史料で貴重な史料であることから、柏原市文化財保護審議会で審議のうえ、このたび市指定文化財になりました。

史料は水野庄左衛門の父である水野如雲とその三男で紀伊徳川家に仕えた庄兵衛にかかわる文書群です。如雲や庄兵衛に宛てられた書状や知行目録を中心に、主家の福島正則に宛てられた書状や豊臣秀吉の書状などで、いずれも貴重な史料です。当館の平成 27 年度特集展示「大坂夏の陣と柏原」でも、その一部を展示させていただきました。



水野家文書



羽柴秀吉書状



—ひとこと—

ゴンドラ第 13 号をお届けします。近ごろ、少しずつ大和川への関心が高まっているように感じます。歴史だけでなく、自然や環境なども関心をよんでいます。当館の秋季企画展の入館者数も増加を続けており、関心の高まりに応えるため、新しく大和川講座をはじめることになりました。いずれ近いうちに、大和川で泳ぎ、河原でアユの塩焼きを食べられる日がくることでしょう。大和川のことを市民にもっと知ってもらうため、当館もささやかながらお手伝いできればいいなと思っています。(Y)

柏原市立歴史資料館

休館日 月曜日（祝日は開館）、年末・年始

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分 入館料 無料

〒582-0015 大阪府柏原市高井田 1598-1 TEL 072-976-3430